

武蔵野の深い緑



番札所です。現存する『八幡山』の山号額は開山当初作られたもので、武蔵野市八幡町の町名の由来となっています。

また明治初年から昭和の初めにかけては、関前村役場、武蔵野村役場、三省小学校、高等尋常小学校が境内地に置かれ、村の中心になりました。

元禄七年九月、佐竹仙寿丸（秋田藩五代藩主義峯）五歳の折に寄進された銅製『護摩炉』が現在も伝わっており、武蔵野市の重宝に指定されています。

毎年五月第二土曜日と日曜日（母の日）には大護摩供が修業され、境内は薬師講縁日にてぎわい、また八月三日、四日には施餓鬼会、盆踊り大会が催されます。

住職 中里崇亮

宗教・宗派を超えて

延命寺 齋場



延命寺 齋場への交通

■中央線三鷹駅北口から

関東バス④乗り場より武蔵境駅行あるいは武蔵小金井駅行で、『五小前』下車（バス停7分、10分位。タクシー7分位。最も近くて便利です）

■中央線吉祥寺駅北口から

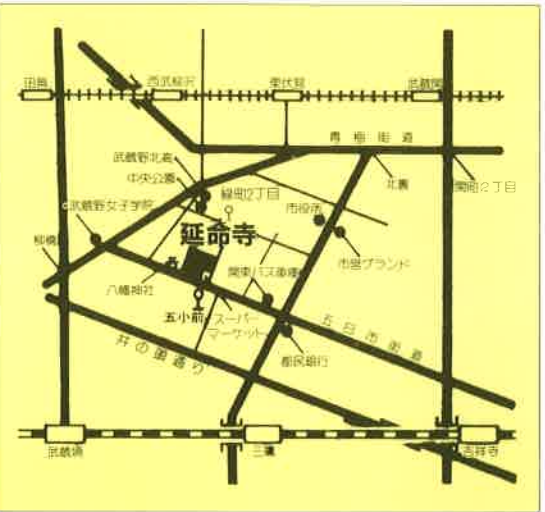
関東バス①乗り場より向台5丁目行あるいは桜堤団地行で『五小前』下車。

■西武線柳沢駅南口から

関東バス三鷹駅行あるいは吉祥寺駅行で『緑町2丁目』下車。

■中央線武蔵境駅北口から

関東バス三鷹駅（武蔵野女子学院経由）行で『五小前』下車。



■休場日 5月第2土・日・月曜と8月2・3・4日は縁日のため休場いたします。

延命寺

東京都武蔵野市八幡町1丁目1番2号

電話／齋場直通 0422-56-0759・寺務所 0422-51-8377

武蔵野薬師 八幡山 延命寺の由来

江戸時代初期、五日市街道沿いの雑木林の中に、恵心僧都作と伝えられる御秘仏・薬師如来を安置する堂宇が建立されたのが当寺の開創です。

寛文十二年（一六七二）関前村開村の際、境内地「五反二畝二十歩」、寺領地「四十四反二畝十九歩」が割当てられた。

当初は関前村開発名主が開基に当たったとの記録が残っているが、のちに石神井三宝寺第十八世・長智法印が開基となり、長恵法印が開山となりました。本尊は文殊菩薩で、江戸中期作の弘法大師坐像（御丈三尺三寸で、まれに見る大きさ）をはじめ、多くの仏像が安置されております。

真言宗智山派に属し、本山は京都東山七条にある総本山智積院です。多摩八十八ヶ所霊場の第二

と光に包まれた齋場



宗派にかかわらずどなたでも——通夜、葬式、告別式、初七日にご利用ください。

第一斎場(大師堂)

はきものままご会葬いただく斎場です。広さは約100㎡(31.5坪)で、椅子が100席設けられます。入口には約26㎡(8坪)のホールがあり、受付等のスペースになります。参列者の控室は、2階日光の間。配膳室も2階になっています。

第二斎場(薬師堂)

和室の斎場で、広さは20畳。正面は全面開放で、ご会葬の方に外から直接ご焼香いただくこともできます。参列者の控室は2階月光の間、配膳室は1階をご利用いただけます。

- 日光の間、月光の間、中の間を同時に利用することもできます。
- 全館使用の場合は2階控室に約130名、1階第二斎場を控室として約40名、合計約170名の会葬者を収容できます。
- 1階、2階の配膳室には、それぞれコンロ、流し、各種食器、ポット、お盆などを揃えてあります。
- その他の設備／駐車場(境内約30台) 冷暖房設備 放送設備 身障者用便所 僧侶控室 浴室 寝具とねまき(5組)



第一斎場(大師堂)



第二斎場(薬師堂)



二階和室全景



日光の間(和室21畳)

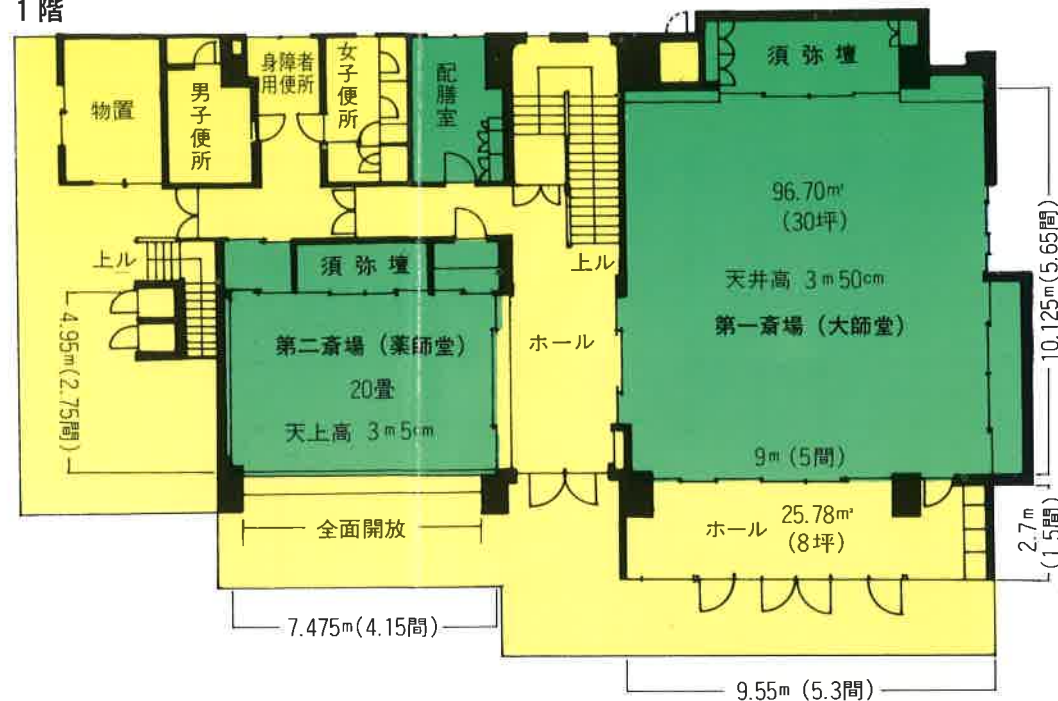


月光の間(和室24畳)



配膳室(二階)

1階



2階

